

緊急フォーラム

朝鮮半島核問題の解決と 日本の安全

いま、世界は、核兵器禁止条約の交渉が国連本部でおこなわれるという歴史的な情勢をむかえています。しかし他方で、日本を取り巻く東アジアでは、北朝鮮による核・ミサイル開発や、それに対して軍事的対応をも選択肢に入れるとする米トランプ政権とこれに追随する安倍政権など、軍事的な緊張が高まっています。

北朝鮮の核問題などを口実に、被爆国日本の政府は国連での核兵器禁止条約交渉会議に参加しませんでした。被爆国にあるまじき態度に、被爆者をはじめ内外から批判と失望が相次いでいます。

わたしたちの平和で安全な暮らしをまもるために、被爆国であり平和憲法をもつ日本には、それにふさわしく核兵器禁止と紛争の平和的解決の先頭に立つことがもとめられています。今回、緊急に開催するフォーラムでは、これらの問題の専門家を招いて自由に討論します。ふるってご参加ください。



日本原水協代表理事
高草木博

核兵器禁止条約が実現へ
その意義と今後の課題



共同通信編集委員
太田昌克

「核の傘」の抱える問題点
被爆国の果たすべき役割

コメンテーター

日本大学国際関係学部 真嶋麻子

日時：5月26日(金) 17:00~19:00

資料代 500 円

会場：平和と労働センター2階ホール (文京区湯島 2-4-4)

主催：原水爆禁止日本協議会 (TEL03-5842-6031 / Mail:antiatom55@hotmail.com)

協賛：全国労働組合総連合 / 全日本民主医療機関連合会